

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、午後にFOMC声明文とイエレン議長による記者会見を控えていたこともあり、3.10台で方向感なく推移する時間帯が続いた。その後公表された声明文では、市場予想通り金利据え置きが決定。「労働市場が一層改善し、インフレ率が中期的に2%の目標に戻っていくと合理的に確信した場合にFF金利の引き上げが適切となる」との見通しを維持した。一方で、5月雇用統計を中心に足許で経済指標の改善が目立っていることを反映し、景気判断に関する記述は全般的に上方修正された。イエレン議長も記者会見において、「4月開催の前回会合以来、雇用増加のペースは上向き、労働市場の伸びは一段と改善した」、「雇用確保という目標に向けて大きく進展している」との見解を示した。マーケットはこれを受けて当初はドル買いで反応したものの、利上げに向けて依然として慎重な姿勢が示されたことに加え、政策金利見通しの分布全体が下方シフトされたこともあり(特に2016年及び2017年の中央値は前回から0.25%低下し、1.625%と2.875%となった)、その後はドル買いポジションの巻き戻しが優勢の展開。レアル相場も3.05台半ばで取引を終えた。

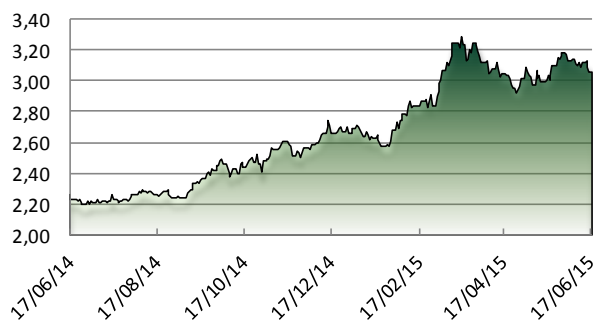
FOMCが全体としてハト派(利上げに慎重)な内容となったことで、レアルを含む新興国通貨全般は目先サポートされやすい環境になり得る。年内利上げ自体の見通しは崩れていないが、引き上げペースが前回予測よりも緩やかになったことで、現時点で積極的にドル買いを進めるには材料に欠けるという印象である。レアル相場は当面トレンドを形成しにくい時間帯が続くと思われる。

マーケットデータ

Indicator	Unit	6月16日	6月17日	前日比	5月15日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	39,93	40,42	+0,49	39,82	+0,60
USD / BRL Spot	BRL	3,0889	3,0566	-0,0323	2,9969	+0,0597
USD / JPY Spot	JPY	123,36	123,43	+0,07	119,25	+4,18
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	53.702	53.249	-453	57.249	-4.000
CDS Brazil 5yrs (クレディットデフォルトスワップ)	bps	247,4	241,6	-5,8	230,4	+11,2
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,74	12,65	-0,09	12,45	+0,20
DI Future Jul16 (金利先物)	%	14,32	14,25	-0,07	13,75	+0,50
3 Months US Dollar Libor	%	0,286	0,286	+0,000	0,277	+0,009
CRB Index (国際商品指数)	Index	223,8	223,5	-0,3	231,5	-8,0

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

